

令和 8 年度 岡山市立小中学校便所改修工事（吉備中学校区）

図 面 リ ス ト		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
M-00	表紙 ・ 図面リスト	――
M-01	岡山市建築設備工事（機械）仕様書	――
M-02	便所平面詳細図（床湿式洋式化） 2 階以上階（ハ' タン 1 , ハ' タン 2 ）	1 : 20
M-03	便所平面詳細図（床湿式洋式化） 2 階以上階（ハ' タン 3 , ハ' タン 4 ）	1 : 20
M-04	便所平面詳細図（床湿式洋式化） 1 階部改修（ハ' タン 5 , ハ' タン 6 ）	1 : 20
M-05	便所平面詳細図（床湿式洋式化） 2 階部改修（ハ' タン 7 , ハ' タン 8 ）	1 : 20
M-06	便所平面詳細図（床湿式洋式化） 屋外便所（ハ' タン 9 , ハ' タン 1 0 ）	1 : 20
M-07	岡山市域図 （吉備中学校、吉備小学校、陵南小学校）	1 : 250000
M-08	配置図（吉備中学校）	1 : 500
M-09	配置図（吉備小学校）	1 : 500
M-10	配置図（陵南小学校）	1 : 500

工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（吉備中学校区）				No.		
図面名	表紙・図面リスト				縮尺	M-00	
					A1 - A3		
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課	令和 8 年 3 月			承認
課長	課長補佐	係長	課員	担当者			
						検図	製図

岡山市建築設備工事（機械）仕様書

I 工 事 概 要

1	工 事 場 所	岡山市北区庭瀬103番地ほか
2	建 物 概 要	

建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防法令別表 1	備 考
吉備中学校	鉄筋コンクリート造	4階	3,392	(7)	
吉備小学校	鉄筋コンクリート造	4階	2,380	(7)	
陸南小学校	鉄筋コンクリート造	4階	2,588	(7)	

3 工事種目 (○印のついたものを適用する)

工 事 種 別		工 事 種 別			
		建 物			
工事種目	建築物	吉備中学校	吉備小学校	陵南小学校	
・ 衛生器具設備	○	○	○		
・ 給水設備	○	○	○		
・ 排水設備	○	○	○		
・ 給湯設備					
・ 通風換気設備					
・ 消火設備					
・ ガス設備					
・ 空気調和設備					
・ 冷暖房設備					
・ 換気設備					
・ 自動制御設備					
・ 厨房器具設備					

II 工事仕様

1 共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁総務部の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版（以下「標準仕様書」という）及び公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版及び公共建築設備工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版による。

2 特記仕様
1) 適用項目番号に○印のついたものを適用する。
2) 特記事項のうちただし事項は○印のついたものを適用する。ただし○印のない場合は※印を適用する。

	通 用	項 目	特 記 事 項
一 般 共 通 事 項	①	機 材	岡山県公共建築機械材料等指定名簿に規定するものとし、同等品とする場合は監督員の承認を受ける。図示する品番・寸法・姿型及び形状は参考であり、製品及び製造所を指定するものではない。また、図示する形状及び配管などの取出し位置により、特定製造業者の製品を指示、限定しない。「図面」による環境物品等の調達への準拠に関する法律（グリーン購入法）に規定される特定調物品目に該当する機材を使用する場合は、その判断基準、配慮事項を満たすものとする。
	2	主任技術者等の資格	※ 資格の区分 I（級管工事施工管理技術士）Ⅱ（級管工事施工管理技術士） ・ 適用しない
	③	工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きの費用はすべて受注者の負担とする。
	4	技 能 の 通 用	・ 配管施工（建築配管作業） ・ 熱熱線施工 ・ 冷凍空気調和機器施工 ・ 建築板金技能士
	5	工事用仮設物	※ 隣工事との関係係りが置けるする足場、作業機台の類は無償で使用できる。
	6	土 工 事 (埋設配管は23による)	イ) 掘削長しは ・ 山砂の類 ・ 複切り土中の良質土 ロ) 残土処分は ※ 横外に搬出し適切に処理 ※ As, Osは適法に処理すること ・ 横内敷均し ・ 横内の指示ある場所に堆積
	⑦	発 生 材 の 処 理	引渡しを要するもの ※ なし ・ あり（ ・ 機器類 ・ 配管材料 ・
	8	説 明 板	監督員と協議のうえ、設備機器類（ボイラ、冷凍機、各種ポンプ、空気調和機など）及び一連の装置などの取り扱い要領を記載した説明板を作成し、指示する箇所に取付ける。
	9	電気容量及び機器表示	イ) 電動機出力、燃料消費量等は、原則として表示された値以下とする。 ロ) 機器類の能力、容量等は原則として表示された値以上とする。
	10	負 担 金	・ 給水引込負担金 （ ※ 別途 ・ 本工事） ・ ガス引込負担金 （ ※ 別途 ・ 本工事）
	11	電 線 ・ 電 線 管	イ) 特記なき電線は600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線とする。
	12	機器付属の制御盤	ろる特記なき電線管は銅網電線管又は監督員の承諾を得た場合は同一外径のねじなし電線管とする。 ハ) 可とう電線管は第2種金属可とう電線管とする。 標準仕様書によるほか下記による。 ・ 運転ブロック図に適合するものとする。 ・ 接続点及び端子は、仕様書に（ ※ 適用する） ・ 適用しない。 ・ ボイラ及び冷凍水機等の付属機の給油スイッチ次に、煤煙濃度計用電源端子を設ける。 ・ インバータ用の制御及び操作型は、仕様書に（ ※ 適用する） ・ 適用しない。）
	13	塗 装	塗装業者は、※ 監督員の承諾する業者 ・ 日本塗装工業会会員 塗装の内見入がかり部（戸根等の内部を含む）は全て塗装を施すこと。（電線管含む）
	⑭	保 温	イ) 保温の種別、材料、施工順序及び厚さは標準仕様書による。 ロ) 保温材計算は下記による。 ○ 給排水、通気、通煙機 （ ・ ポリスチレンフォーム ○ 既存補修部のみグラスウール） （床下、屋外露出、増築内はポリスチレンフォームとする。） ・ 給排水、銅板製水槽、貯湯槽等 （ ※ グラスウール） ・ 消火管 （ ・ グラスウール ・ ポリスチレンフォーム） ・ 高気管 （※ ロックウール） ・ 排気筒、煙突、煙導 （※ ロックウール） ・ 空調設備配管、ダクト （※ グラスウール） ・ 排煙ダクト （※ ロックウール） ・ 排気筒 （ ・ ロックウール ・ グラスウール） ハ) 屋内露出（ ・ 機械室 ・ 倉庫 ・ 倉庫）の配管、ダクトの保温は屋内露出（一般居室、廊下）に読み替える。 ホ) 屋外設置機器の外装仕上げは（ ・ スチール鋼板 ・ 溶融783±20（亜鉛鋼板）とする。 ニ) 屋外（多湿箇所）配管の外装仕上げは（ ・ スチール鋼板 ・ 溶融783±20（亜鉛鋼板）とする。 ヘ) ビット内配管の外装仕上げは（ ・ 着色783±20（亜鉛鋼板） ・ 保温なし）とする。 ロ) 保温厚さを標準仕様書以上とする場合には特記する。

共 通 事 項

一

般

共

通

事

項

15

重鉛鍍面下地処理

重鉛鍍面の下地処理はエッチングプライマ塗りとする。

16

防振継手

・ 鋼製フラッジ付ベローズ管（接液部SUS304） ※ 合成ゴム製
・ ポリテトラフルオロエチレン製（3山）

17

フレキシブルジョイント

※ 鋼製フラッジ付ベローズ管（接液部SUS304） ・ 合成ゴム製

18

はつり工事

既設のコンクリート床・壁等の貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

19

補修など

工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にないし補修をする。

20

他工事との取合い

イ) 鉄筋コンクリートの各部の貫通箇所及び開口部の補強、その他天井のボード切込み及び下地の補強は
※ 本工事 ※ 別途工事
ロ) コンクリート壁、床及び梁等における設備機器、風道、配管等の箱入れ及び貫通スリーブ等は
※ 本工事 ※ 別途工事
ハ) 機器付属の制御盤及び操作盤以降の配管、配線は
※ 本工事 ・ 別途工事
ニ) 別述壁類への渡り配線の接続は
・ 本工事 ※ 別途工事
ホ) 機器のコンクリート基礎
屋上設置のもの
・ 本工事 ※ 別途工事
屋内設置のもの
・ 本工事 ※ 別途工事
屋外設置のもの
・ 本工事 ※ 別途工事
ヘ) 自動制御の電線管は
・ 本工事 ・ 別途工事
ト) 自動制御の電線の配線は
・ 本工事 ・ 別途工事
チ) 自動制御室と自動制御機器との配線の接続は
※ 本工事 ・ 別途工事

21

配管表示

配管機器等は監督員の指示する箇所に文字矢印を記入し、弁にはプラスチック札を取付けること。札の文字等は彫り込みとし、SUSチェーンにて取付けのこと。

22

土中埋設配管周囲の保護砂及び埋め戻し土・盛土

イ) 管周囲の保護 ※ 山砂の類 ・ 根切土中の良質土
ロ) 埋戻し土・盛土 ※ 根切土の中の良質土 ・ 山砂の類

23

埋設表示

イ) 埋設表示テープ ※ 要 ※ 給水 ※ 消火 ※ ガス ・ 排水 ・ 圧送管) ・ 不要
ロ) 埋設標示柱・埋設標示ピン(※ 要 ・ 樹

24

支持金物、固定金具等

ポンプのアンカーボルト・ナット及びピット内等水汽のある場所、屋外の機器・配管用の支持金物等は、ステンレス鋼（SUS304）とする。土中支持もステンレス鋼（SUS304）とする。

25

あと施工アンカー

施工後確認試験(※ 要 ・ 不要)
試験方法 引張試験機による引張試験
確認強度 対象機器ごとの7か所×1本当たりの短期引張強度の2/3以上
試験箇所数 1施工単位に対し1本以上
対象機器 ・ 重要機器

26

ポンプの電動機の極数

満巻ポンプの電動機の極数は (・ 4 P ・ 2 P)

27

ポンプの名板

水中ポンプの名板は監督員の指示により見やすい所に取付けのこと。

28

保守工具

下記の保守点検に必要な工具一式を提出する。
・ ポンプ ・ 送風機 ・ 吹出口 ・ 割断 ・ 樹 ・ その他

29

岡山市標準施工図

参照 ※ する ・ しない

30

耐震措置

設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。また、機器、配管、風道などの耐震対策のため、必要な計算書を監督員に提出する。ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で確実にするにはよいものとする。
イ) 機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数と、次に示す設計用標準水平加速度を乗じたものとする。

31

スリープ

※ 亜鉛鍍板 ※ つば付鋼管（水密部） ・ 紙 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU）
・ 止水リング(・ 無機物材質：水密部 ・ 有機物材質：水密部以外)

32

振れ止め

ダクト・配管等においては、標準仕様書の振れ止めの他必要な箇所に施工する。

33

道路使用

※ 施工等で道路を使用する際は道路使用許可等の手続きを行うこと

1

大便秘・小便器

陶製又はプラスチック製の注意板の取付けは ※ 設計図による。 ・ 取付け。

2

洗浄用タンク

※ 防露形陶製とする。 ・ 設計図による。

3

洗浄用タンク固定金物

※ フタ固定金物とする。 ・ 設計図による。

4

大便器用洗浄弁

節水機構とする。

5

温水洗浄便座

温水洗浄便座は、次の機能を有するほか、JIS A 442Z（温水洗浄便座）によるものとする。
・ 温風乾燥機能 ・ 擬音装置 ・ 操作ボタン

6

陶器の色

監督員の指示による。

1

量水器

観メータは水道事業者からの借用、メータは買取りとする。

2

量水器種類

※ 水道事業者の指定品とする。 ・ その他

3

管

下記の内容は本仕様による。
イ) 一般配水管
※ 水道用硬質強化ビニール管 (SGP-VB) (SGP-VD) ・ SGP-VA) ・ 水道用ポリエチレン二層管
・ 水道用硬質ビニール管 (VP ・ H1VP) ・ 水道用高性能ポリエチレン管 (HPPE)
・ 架橋ポリエチレン管 ・ ビアツ管 ・ その他
ロ) 土間配管、コンクリート壁中
※ 水道用硬質強化ビニール管 (SGP-VD) ・ 水道用ポリエチレン二層管
・ 架橋ポリエチレン管 ・ ビアツ管 ・ その他
ハ) 地中配水管
※ 水道用硬質強化ビニール管 (SGP-VD) ・ 水道用硬質ビニール管 (VP ・ H1VP)
・ 水道用高性能ポリエチレン管 (HPPE) ・ 水道用ポリエチレン二層管 ・ その他
ニ) ビット配水管
※ 水道用硬質強化ビニール管 (SGP-VB) (SGP-VD) ・ 水道用高性能ポリエチレン管 (HPPE)
・ 水道用硬質ビニール管 (VP ・ H1VP) ・ 架橋ポリエチレン管 ・ ビアツ管
・ その他

4

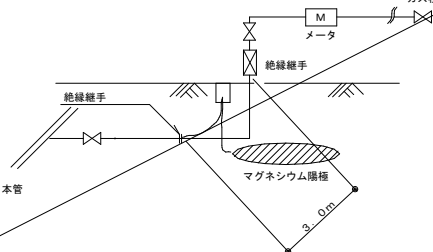
ライニング鋼管接続

100A以上の接続 ※ なじみ接続 ・ 標準仕様書による

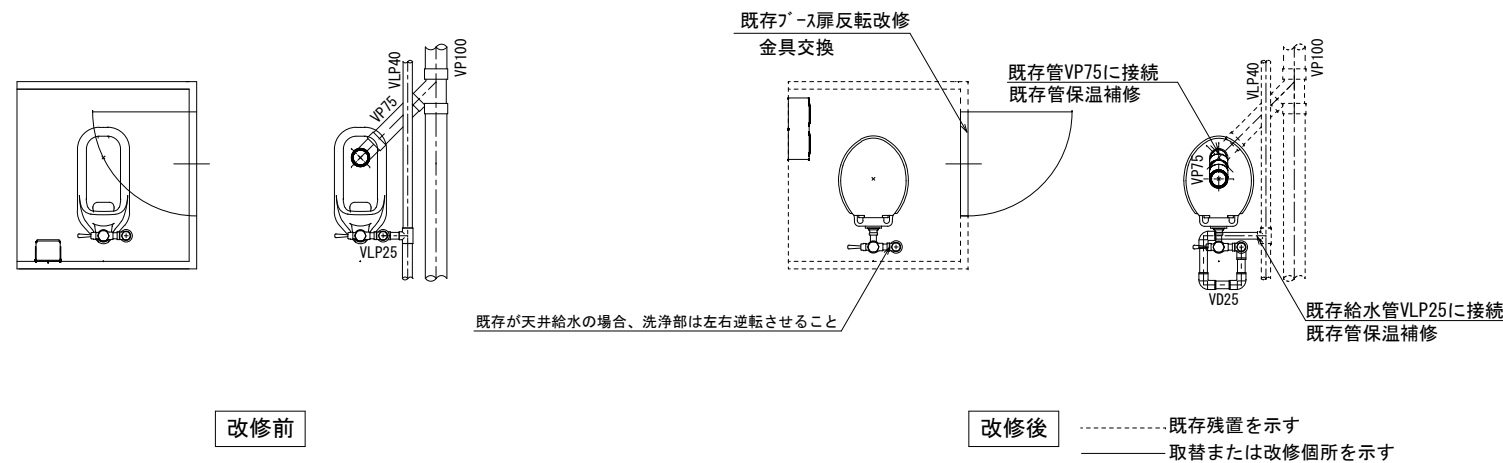
給水設備

給 水 設 備	⑤	弁	イ) 公営水道に直結する配管に使用するものはJIS又はJV 10Kとする。 ロ) 高圧水槽以降の配管に使用するものはJIS又はJV 5Kとする。ただし、排水ポンプに使用するもの及び特記部分はJIS又はJV 10Kとする。 ハ) 65A以上の鋼鉄製仕切弁、鋼鉄製造止弁は、ライニング弁とする。50A以下の仕切弁、鋼製製造止弁は管端コア付バルブとする。 ニ) 埋設箇所は埋設用バルブとする。 取付け。 合成ゴム製（2山以上） 岡山市水道給水装置施工基準に適合する他図示による
	⑥	定 量 弁	
	⑦	水槽周り可とう継手	
	⑧	埋 設 深 度	
	⑨	ライニング鋼管管端処理	※ 管端防食継手 ・ 防食コア ・ その他 ・ 蓋はSUS製額付とする。
	⑩	放水栓ボックス	※ 給水所有者に使用許可等の手続きを行うこと。
排 水 設 備	⑪	給水栓の使用許可	※ 給水所有者に使用許可等の手続きを行うこと。
	⑫	水質基準	水道法に定める水質基準を満たすことのできる管、弁、継手を使用すること
	①	屋 内 汚 水 管 （第1樹まで含む）	・ 便槽付製品 ・ 排水用ノントールエポキシ塗装鋼管 ・ 耐火二層管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF≒VP） ・ その他
	②	屋 内 雑 水 管 （第1樹まで含む）	・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 排水用ノントールエポキシ塗装鋼管 ・ 耐火二層管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング管 ・ その他 ・ 硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF≒VP） ・ その他
	③	通 気 管	※鋼管を使用する場合 汚水合流系統の配管は とする ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ その他
	④	屋 外 排 水 管	※ 硬質ポリ塩化ビニル管（VU） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP） ・ 90°硬質ポリ塩化ビニル管（RS-VU） ・ 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管（6°V）圧送管） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ その他 ・ 樹脂材質 （ ・ 樹脂コーティング ・ 樹脂製 ・ 標準品）
給 湯 設 備	⑤	排水トラップ	※ 岡山市標準施工図 ・ 塩化ビニル製ます ・ 樹脂製ます
	⑥	ます	・ 既製コンクリートます ・ その他
	⑦	グリーストラップ	SUS製殊業カゴを ※ 取付ける ・ 取付けない
	⑧	マンホール鎮	SUS製鎮とする
	⑨	共 栓 鎮	SUS製鎮とする
	⑩	満水試験継	図示の位置に取り付ける。 洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。
給 湯 設 備	⑪	排水台接続	露出部は塗装仕上げとし保温しない
	⑫	ブル排水管	○ 公共下水道（○分流水 ・ 合流式） ○ 合併浄化槽（ ・ 新設 ○既設 ） ・ その他
	⑬	排水処理先	
	①	管 類	・ ステン鋼鋼管（※ 拡管式 ・ 溶接接合 ・ その他） ・ 鋼管彫形 （ ・ 保潔付 ・ 保温なし） ・ 鋼製リフレ管 ・ 60°リフレ管 ・ 耐熱性硬質塩化ビニル管（※ 鋼管 ・ その他）
	②	弁 類	JIS又はJV 5Kとする。ただし、特記部分は 10K とする。
	③	断熱水槽の保温	※ 施工する ・ 施工しない
ろ 過 循 環 設 備	④	給湯用簡易ボイラ	ガスバーナはガンタイプとする。
	⑤	ライニング鋼管管端処理	SUS製コア内蔵継手（100A以上防蝕コア）
	①	ろ 過 装 置	能力 ・ 60m3/h ・ 100m3/h
	②	ポンプ廻り配管	可とう継手 ・ 付ける ・ 付けない 圧計付 ・ 付ける ・ 付けない
	③	循 環 配 管	給水設備による。
	④	弁 類	給水設備による。
消 火 設 備	⑤	保 温	ブルサイド下部は ・ 屋外露出仕様 ・ 床下暗渠仕様 ブルサイド下部の室内は ・ 屋外露出仕様 ・ 機械室・倉庫仕様 ・ 床下暗渠仕様
	①	屋内消火栓箱	・ 1号消火栓 （ ※ 国土交通省仕様 ・ その他 ） ・ 易操作性 1号消火栓 （ ※ 国土交通省仕様 ・ その他 ） ・ 2号消火栓 （ ・ ドラム式 ・ リール式 ・ その他 ） ※ 左範図2号消火栓
	②	消火栓弁の耐圧	最大使用圧力とする。
	③	消 火 栓 弁	減圧機構付消火栓弁を ※ 取付ける ・ 取付けない
	④	保 温	イ) 配管の保温は ・ 施工する ※ 施工しない （屋外露出の保温種別は e2・(ハ)～(ヘ) による） ロ) 呼水槽の保温は ・ 施工する ※ 施工しない ハ) 充水槽の保温は ・ 施工する ※ 施工しない
	⑤	フレキシブルジョイント	※ 鋼製フランジ付ベローズ形（接換品SUS304）
ガ ス 設 備	⑥	消 火 ポンプ	※ ユニット型 制御盤はユニット組込みとする。 ※ 日本消防設備安全センター認定品とする。
	⑦	管 類	イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（白管） ロ) 土中配管用（土間を含む） ※ 消火用外面硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VS） ・ 消火用高性能リフレ管（HPPE） ・ その他
	①	供給ガスの種類	・ 都市ガス （ ※ 13A 発熱量 46MJ/m3 ） ・ 液化石油ガス （ 発熱量 100.47MJ/m3 ）
	②	管	イ) 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管 （ ・ 白管 ・ 黒管 ） ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス用ステンレス鋼フレキシブル管 ロ) 地中配管（土間を含む） ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管 ・ 塩化ビニル被覆鋼管
	③	ガス メー タ	※ メータはガス供給業者より借用、メータは買取りとする。 （ ・ マイコンメータ ・ その他）
	④	ガスメータの取付	※ 本工事に含む ・ その他
ス 設 備	⑤	緊急遮断弁の取付	・ 本工事に含む ・ その他
	⑥	供給方式	・ ポンベ ・ バルブタンク
	⑦	ポンベ周りの配管	※ 自動切替式
	⑧	プロパン庫置或隣接	指定の箇所に取付ける
	⑨	ポンベ転倒防止	※ 岡山市標準施工図による ・ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）施工73(b)
	⑩	管の地中埋設深さ	・ 一般 300mm以上 ・ 車間通路 600mm以上 ・ 1,200mm以上
備	⑪	沈下対策措置	※ 伸縮継手 ・ 溶接配管 ・ 機械的接合 ・ 継手の組合せ
	⑫	電 気 防 蝕	※ 無し ・ あり （ ・ 流電陽極法 ・ その他 ）
	⑬	耐震対策設計	耐震設計にあたり「内管耐震設計マニュアル（一般建築物）平成11年10月」「高層建築物用ガス設備新設計・施工指針」の手引き昭和62年11月」いずれも社団法人日本ガス協会発行を参照する。 備考 1 埋設配管の継手部周りの防食措置は、標準仕様書 第6編第2章 都市ガス設備2.2.5よりガス事業者の承認する工法による。 2 配管の吊り及び支持は総継縁措置を施す。 3 塗装仕上げにおいて仕様書以外に必要な箇所は明記する。 4 マグネシウム陽極の設置基準 ① 低圧埋設配管で溶接接合による100A以上の鋼管管径の延長が3m以上ある場合は、総継縁継手を取り付け、さらにマグネシウム陽極（犠牲性陽極）を設置する。

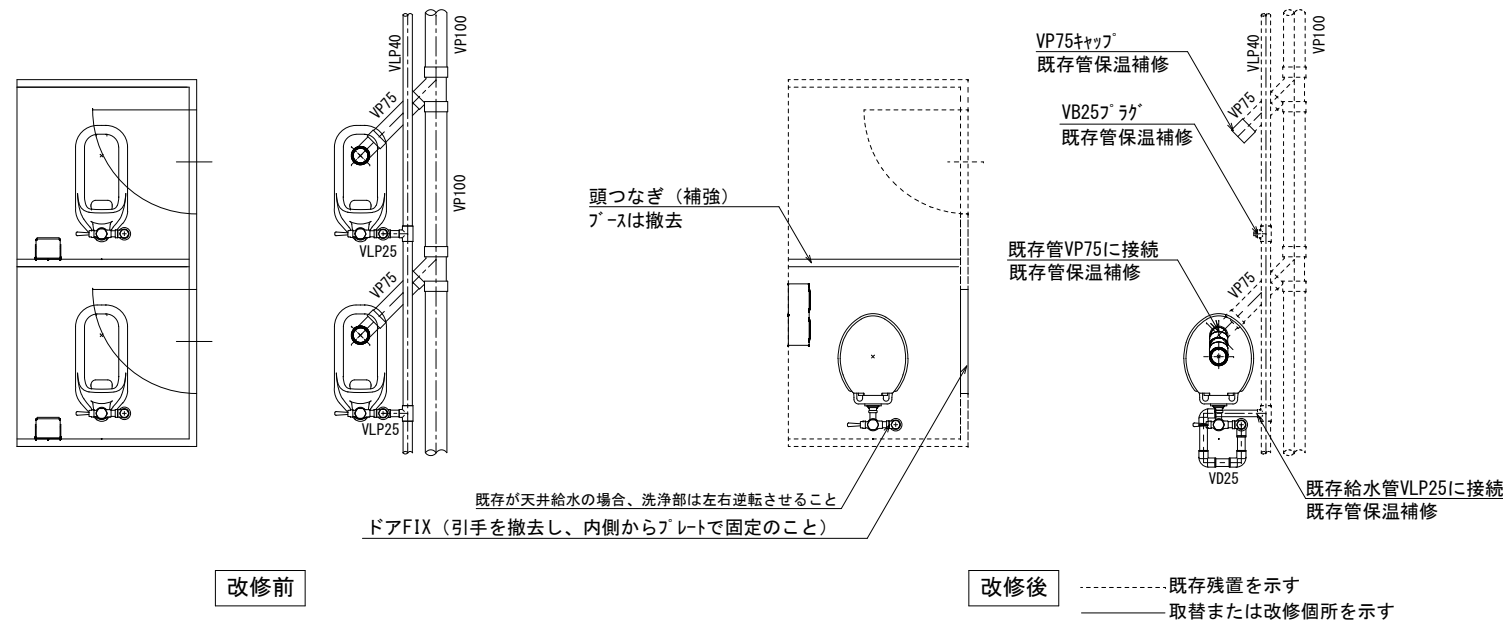
ス
設
備

ガ ス 設 備			
		② 中間圧・中圧埋設配管の場合は埋設延長にかかわらず絶縁継手とマグネシウム陽極を取り付ける ③ その他埋設配管場所が酸性の強い土壌、腐蝕性の強い薬品を扱う工場敷地及びその周辺、湿地帯、海水の影響を受ける場所、鉱さい等による埋立地等、特に腐蝕性が強いと判断される場所の場合は、防食措置を別途検討する。	
空 気 調 和 ・ 冷 暖 房 ・ 換 気 設 備	1	設計用温度条件 (温湿度調整目標値)	国土交通大臣官庁官庁庁室整備部監修の建築設備設計基準(最新版)
	2	冷水・温水・冷温水管	・ 配管用炭素鋼管(白管) ・ ステンレス鋼管 ・ 高機能ポリエチレン管(HFPE)
	3	ドレン管	・ 配管用炭素鋼管(白管) ・ 厚肉硬質塩化ビニル管(RF-VP) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(カラーVP)
	4	冷却水管	※ 塩化ビニルライニング鋼管 (・ SGP-VB ・ SGP-FVB) ・ ステンレス鋼管 ・ 高機能ポリエチレン管(HFPE)
	5	膨張・空気抜き・補給水管	※ 配管用炭素鋼管(白管) ・ 高機能ポリエチレン管(HFPE)
	6	油管	・ 配管用炭素鋼管(黒管)
	7	冷媒配管	※ 耐熱材被覆鋼管(標準仕様書による) ・ 機器の標準品(保温共)
	8	弁類	JIS又はJN SK とする。ただし、特記部分は 10K とする。
	9	ファンコイルユニット	イ) ・ 流量調整弁を取り付 ロ) ・ 定流量弁 (・ ダイヤフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形) 取付 ハ) 遠方操作スイッチの渡り配管 ・ 本工事 ・ 別途工事 ニ) 遠方操作スイッチの渡り配管 ※ 本工事 ・ 別途工事 ホ) 遠方操作スイッチのプレートは金属製とする。
	10	吹出口・吸込口	ヘ) ドレンパンは ・ SUS 製 ・ 鋼板製 ・ 合成樹脂製 原則、ボックスは亜鉛鉄板製とする。
	11	ダクト	種及びスリットの材質は ※ アルミニウム製 (※ 着色する ・ 着色しない)
	12	防煙・防火ダンパ	イ) 低速ダクトとする。 ロ) 矩形ダクトは、 ・ アングル工法 ・ コーナポルト工法 ハ) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmは1.6mm厚鋼板製とする。
	13	防煙・防火ダンパ	防煙ダンパは、 ※ 電気式 ・ 空気のダンパ後継機は、 ※ 遠隔式 ・ 手元式 電気式防煙ダンパ動作電圧、電流はDC24V、0.6A以下とする。
	14	風量測定口	取付位置は図面による。材質はアルミニウム製とする。
	15	吹出口チャンパ	イ) シーリングディフューザ形吹出口には、下記のチャンパを設ける。 ネック径が200φ以下 400×400×250H ネック径が200φを超えるもの 500×500×300H ロ) 外壁に面するガラリにチャンパ等を設ける場合には原則として排気を設ける。
	16	消音内貼り	イ) シーリングディフューザ形吹出口接続チャンパ及び図示したダクト並びにチャンパ類とする。 ロ) 内貼チャンパ類の寸法表示は、外形寸法とする。 ハ) 吹出口以外の内貼したチャンパには点検口(450×500)を取付ける。
	17	瞬間流量計	形式はビード管式(コック付)とする。取付は図面による。
	18	温度計	標準仕様書及び図示の箇所のほか、下記の箇所に取付ける。 ・ 温水ボイラの温水管入口部 ・ 空気調和機器の送気風道、外気風道及び給気風道 ・ 冷水水管等々(注)及び冷水水管等々の各通り管
	19	冷水水管の空気抜き	機器付属以外の温度計は ※ 円形のバイメタル式(100φ以上) ・ プルドン管式 イ) 空気漏れを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に 空気抜き手装置を設ける。 ※ 手動 ・ 自動 ロ) 自動空気抜き弁にはストレーナを取り付ける。
	20	防振吊り金物及び 防振支持金物	中央機械室の冷却水管・冷水水管等の吊り及び支持は、防振吊り金物又は防振支持金物で行う。
	21	温度調節器・湿度調節器 エアフィルタの予備品	取付高さは ※ 1,300mm ・ mm イ) 空気調和機又はフィルタチャンパ装着枚数の50%以上を予備品(特付)として納める。 ただし、自動専取の場合は100%とする。
	22	グリッドフィルタの予備品	ロ) ファンコイルユニットは機器毎に30%以上、また、空冷ヒートポンプ室内用は100%に当たるフィルタ を予備品(特付)として納める。最低1枚とする。
	23	防振基礎	※ 100%に当たる予備品を納める。 ・ 納めない。 イ) 送風機の防振基礎(防振ゴム使用の場合)の総断面積は %とする。 ロ) ボンプの防振基礎(防振ゴム使用の場合)の総断面積は %とする。
	24	冷媒配管の保温カバー	イ) 屋外露出部の保温化仕上がりは(・ 樹脂製 ・ 鉛-亜鉛鉄板 ・ その他)とする。 ロ) 屋外露出部は(・ ステンレス鋼板 ・ 樹脂製塩化ビニル ・ 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 ・ その他)
	25	保温	イ) 全熱交換機(・ 給気ダクト ・ 排気ダクト)は保温する。 ロ) 送りダクトは保温 する。 ・ しない。 ハ) ボンプは保温 する。 ・ しない。 ニ) ボンプ回りの防振手すり、フレキシブル継手は保温 する。 ・ しない。 ホ) 換気ダクト(・ 給気ダクト ・ 排気ダクト)は保温する。 エアコン本体は排水工事の為、スリーブ(樹脂製キャップ付き)のみ今回工事とする。
	26	スリーブ	※ 商用用機器「第一種特定製品」のフロア類はフロア排出口制法に従って処理すること。 ・ 家庭用機器(・ 室外機にフロア回収、取外し指定箇所保管 ・ 本工事対象外)
	27	冷暖等の処理	・ 吸収式冷水機(・ 産業廃棄物広域認定制度 ・ 産業廃棄物) ・ 吸収式冷水機の吸収液(・ 産業廃棄物広域認定制度 ・ 産業廃棄物)
工事名		岡山市立小中学校校便所改修工事(吉備中学校区)	N o .
図面名		岡山市建築設備工事(機械)仕様書	M-01
岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課		令和8年3月	M-10
課長	課長補佐	係長	課員
			担当
			承認
			検図
			製図



パターン 1



パターン2

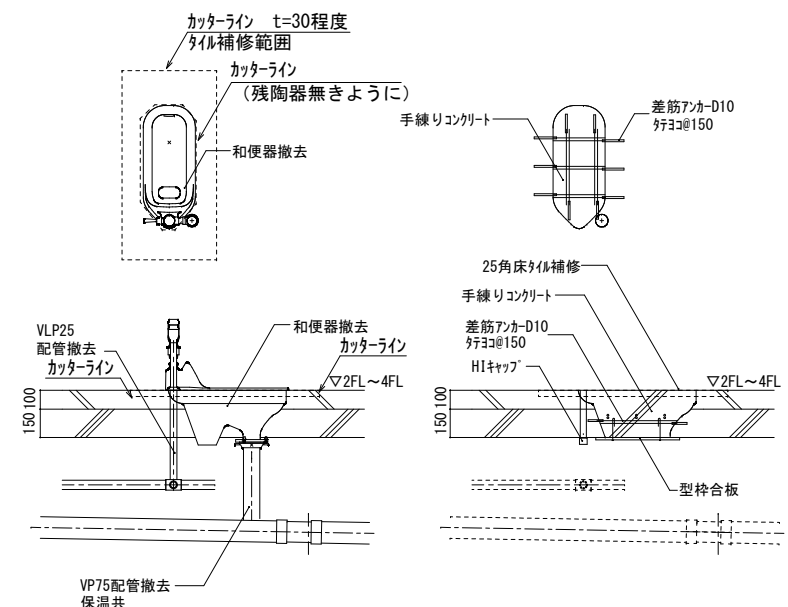


機械設備

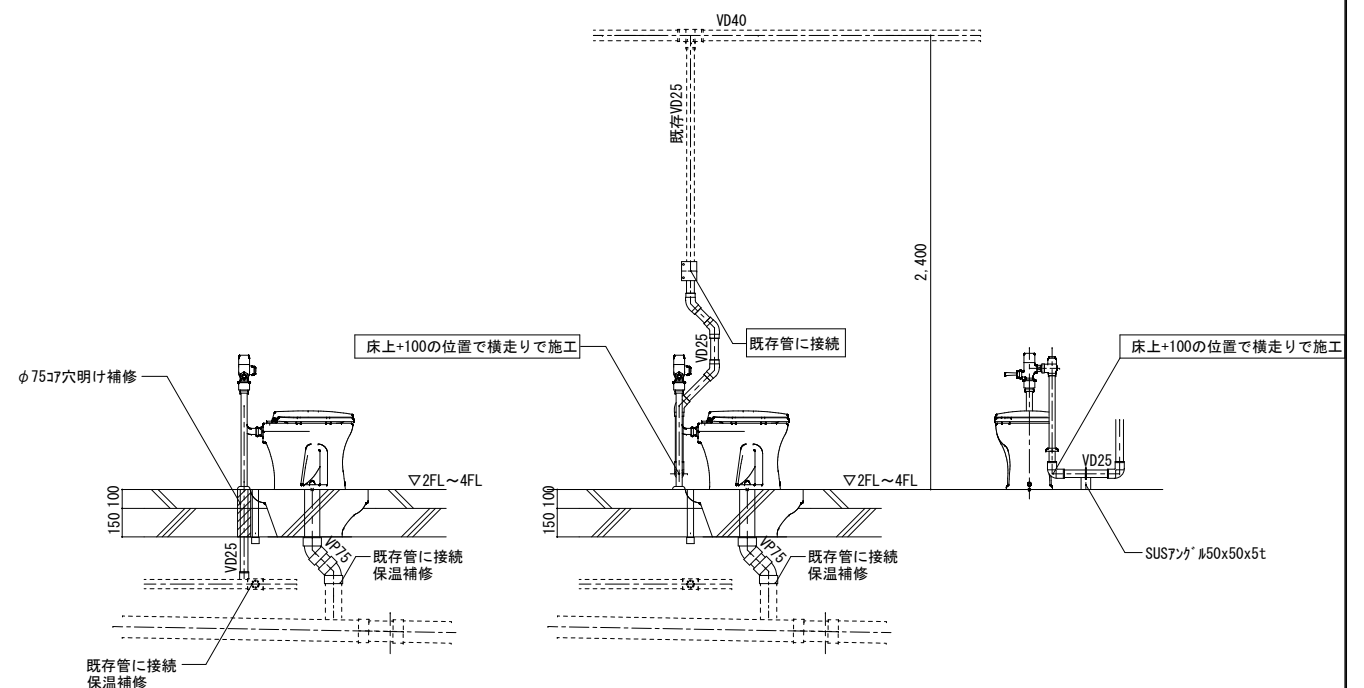
記 号	名称	仕様	参考型式 (TOTO)	参考型式 (LIXIL)
	洋風大便器	低圧フラッシュ [®] ﾎﾞｰ式、普通便座（蓋有り）	CS140#NW1, HP430-7, TV550S, TSF640LR, T82CR32 T56PH×2, TS152-1, TC290#NW1	YCP-P13S, CF-8AWP, CF-63UT, CF-103BB CF-115M-1, CF-115M-2, CF-47AT
	紙巻器		YH650	CF-AA64

共通	給水管	SGP-VD	継手 (VD)、一部 (VB)、露出部は塗装無し、保温なし 既存給水管より分岐、一部保温補修
	排水管	VP	改修箇所は保温なし 廃止の排水管は分岐部でキャップ止め
	便所ブース一部改造		ドアは外開き（常時閉）に変更。開き止めを設置すること。 ドアFIX（引手を撤去し、内側からプレートで固定のこと） 表示付きのカギへ取替えること。
	その他		既存ブースを可能な限り利用すること。 床：既存（湿式）のままのこと。 天井：既存のままのこと。 壁：既存のままのこと。

共通事項



和便器撤去跡改修要領図

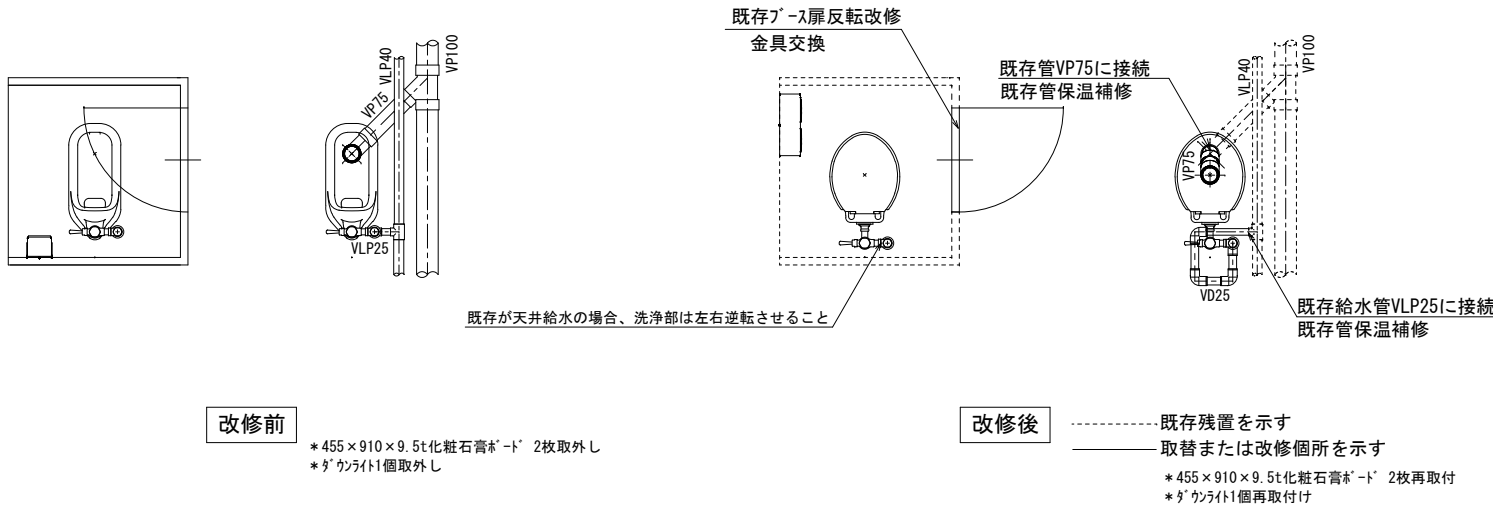


* 既存が天井給水の場合

洋便器設置要領図

工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（吉備中学校区）				No.	
図面名	便所平面詳細図（床座式洋式化） 2階以上詳細（ﾊﾞｰﾅｰﾝ1,ﾊﾞｰﾅｰﾝ2）		縮尺	A1 1/20 A3 1/40	M-02	
岡山市	都市整備局	住宅・建設部	公共建設課	令和8年3月		
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検印
						製図

パターン3



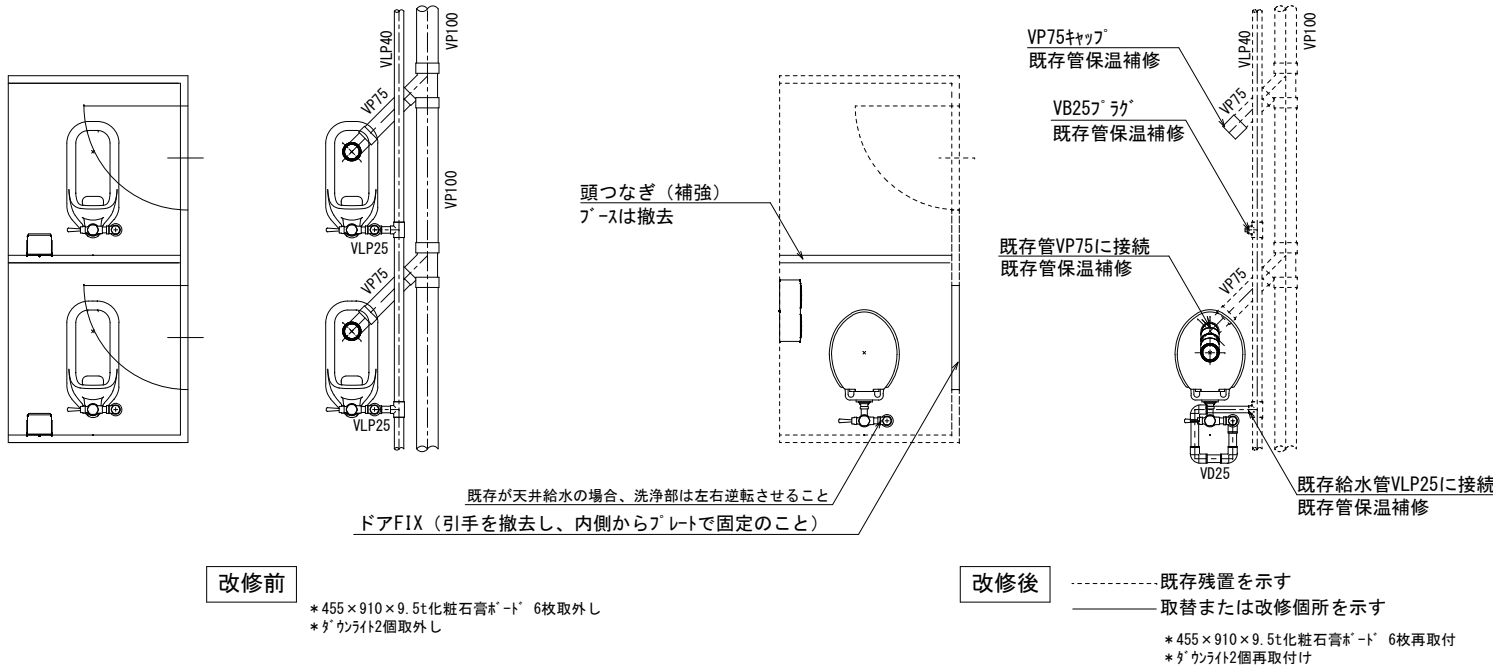
改修前

* 455×910×9.5t化粧石膏ボード 2枚取外し
* タウンライト1個取外し

改修後

----- 既存残置を示す
———— 取替または改修箇所を示す
* 455×910×9.5t化粧石膏ボード 2枚再取付
* タウンライト1個再取付け

パターン4



改修前

* 455×910×9.5t化粧石膏ボード 6枚取外し
* タウンライト2個取外し

改修後

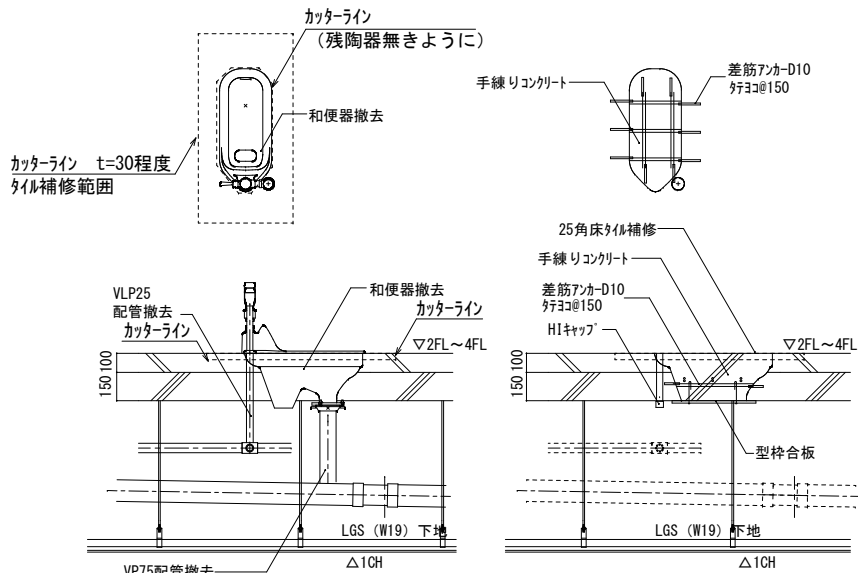
----- 既存残置を示す
———— 取替または改修箇所を示す
* 455×910×9.5t化粧石膏ボード 6枚再取付
* タウンライト2個再取付け

機械設備

記 号	名称	仕様	参考型式 (TOTO)	参考型式 (LIXIL)
	洋風大便器	低圧フラッシュノブ式、普通便座（蓋有り）	CS140#NW1, HP430-7, TV550S, TSF640LR, T82CR32 T56PH×2, TS152-1, TC290#NW1	YCP-P13S, CF-8AMP, CF-63UT, CF-103BB CF-115M-1, CF-115M-2, CF-47AT
	紙巻器		YH650	CF-AA64

共通	給水管	SGP-VD	継手 (VD)、一部 (VB)、露出部は塗装無し、保温なし 既存給水管より分岐、一部保温補修
	排水管	VP	改修箇所は保温なし 廃止の排水管は分岐部でキャップ止め
	便所ブース一部改造		ドアは外開き（常時閉）に変更。開き止めを設置すること。 ドアFIX（引手を撤去し、内側からプレートで固定のこと） 表示付きのカギへ取替えること。 既存ブースを可能な限り利用すること。
	その他		床：既存（湿式）のままのこと。 天井：既存の天井ボード及び照明器具を取外し再取付けのこと。 壁：既存のままのこと。

共通事項



パターン3

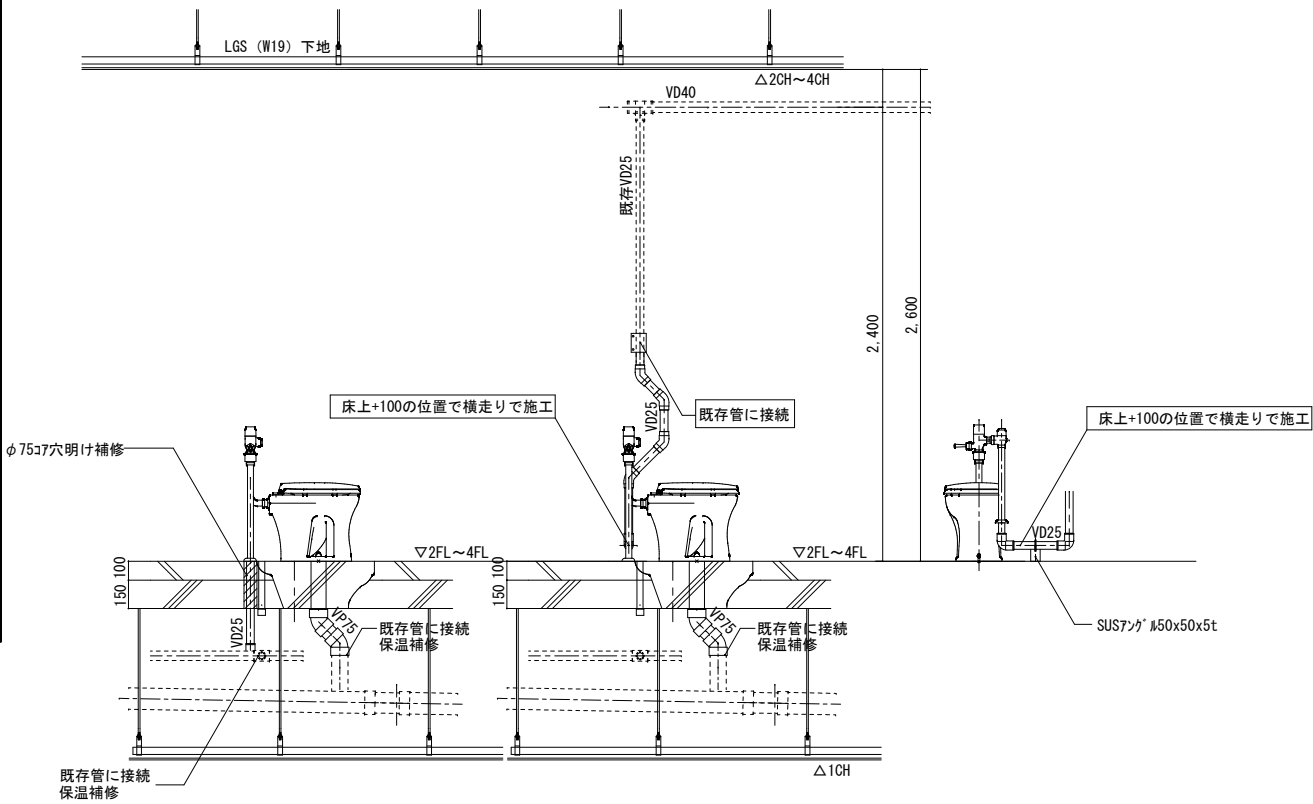
* 455×910×9.5t化粧石膏ボード 2枚取外し・再取付け
* タウンライト1個取外し・再取付け

パターン4

* 455×910×9.5t化粧石膏ボード 6枚取外し・再取付け
* タウンライト2個取外し・再取付け

和便器撤去跡改修要領図

* 下階に天井がある場合



* 既存が天井給水の場合

パターン3

* 455×910×9.5t化粧石膏ボード 2枚取外し・再取付け
* タウンライト1個取外し・再取付け

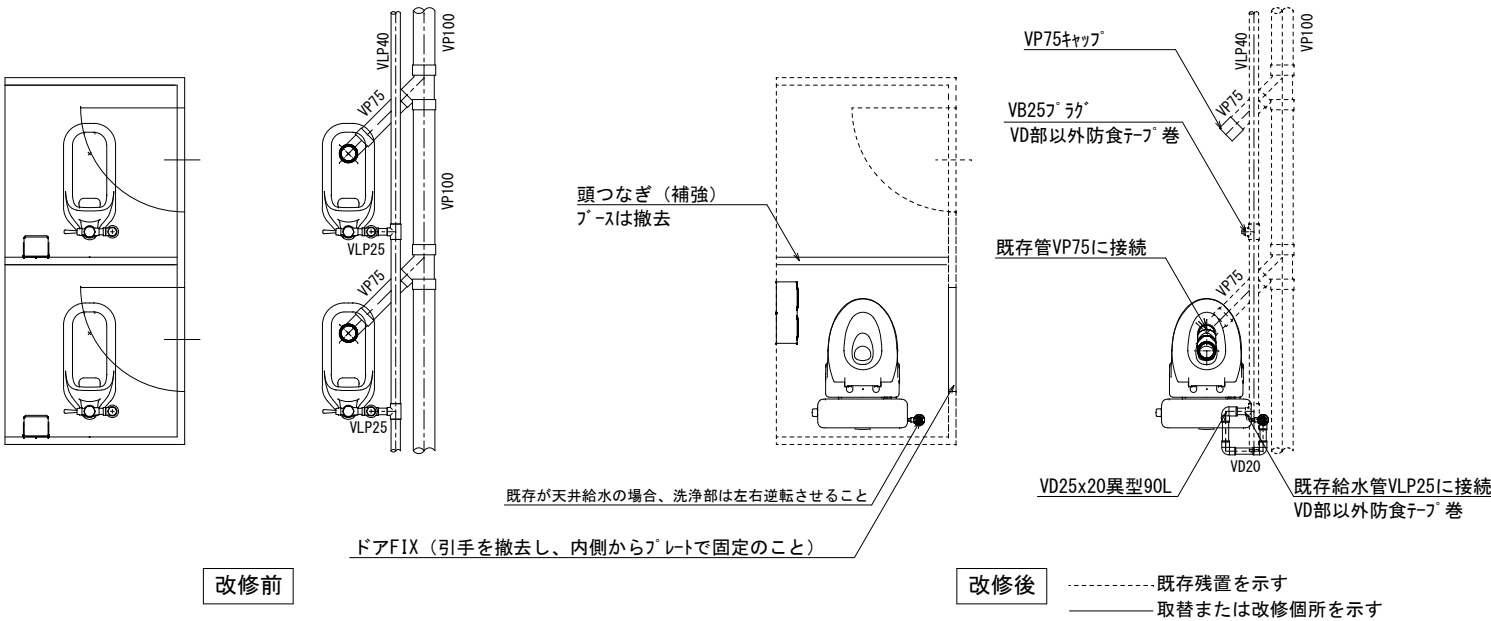
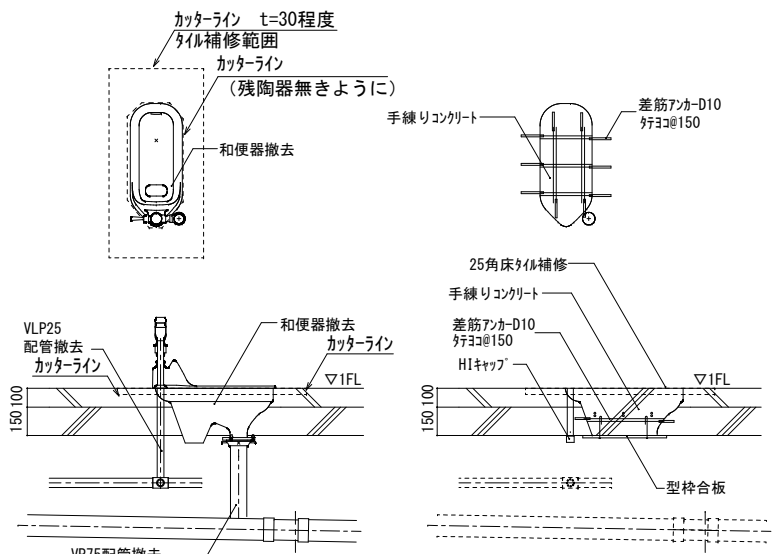
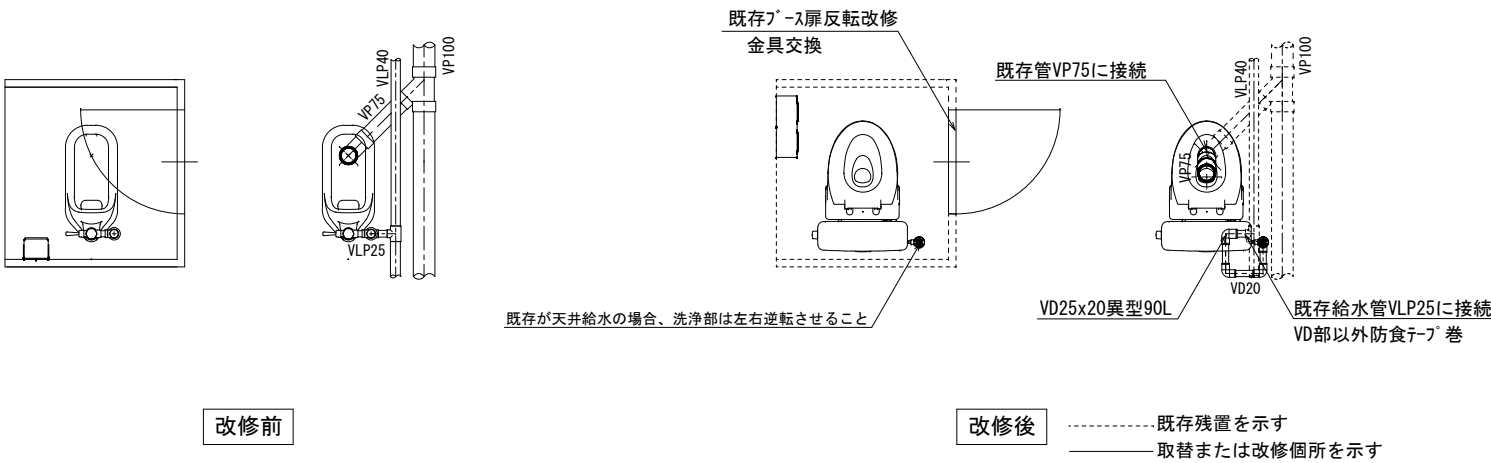
パターン4

* 455×910×9.5t化粧石膏ボード 6枚取外し・再取付け
* タウンライト2個取外し・再取付け

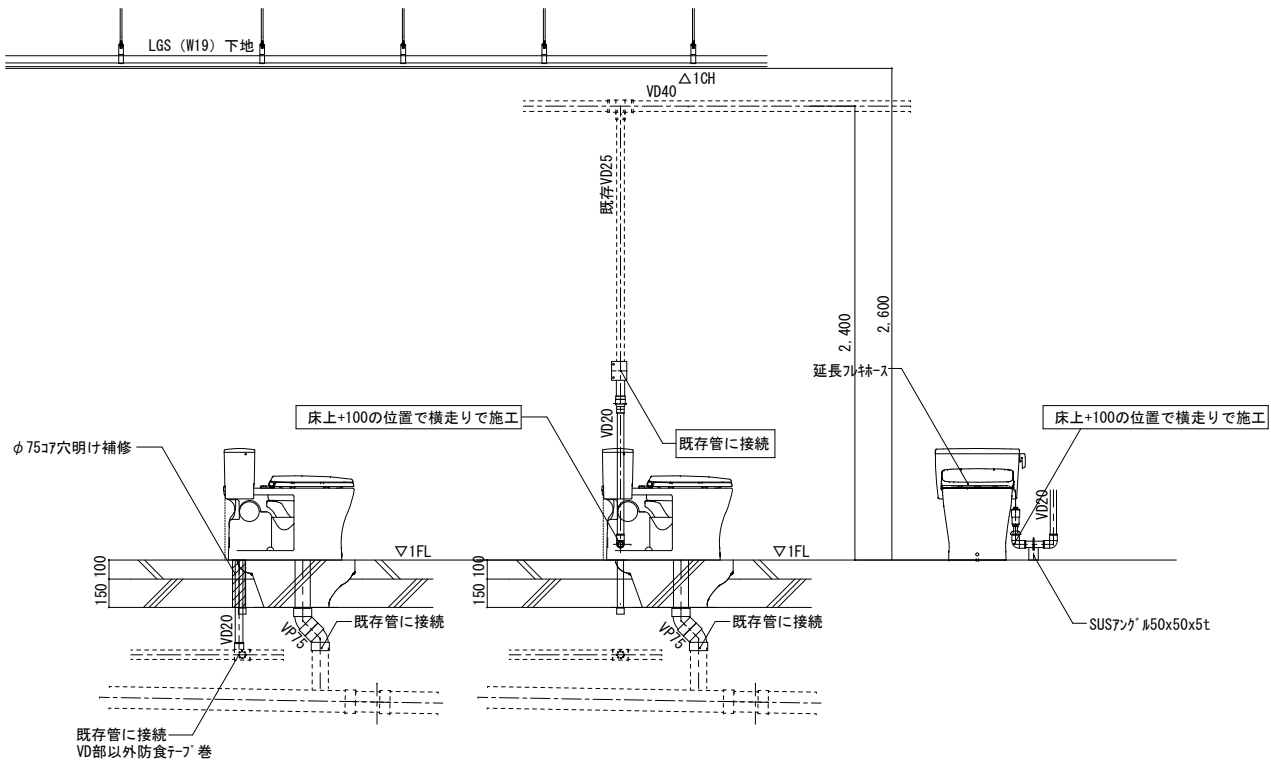
洋便器設置要領図

* 下階に天井がある場合

工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（吉備中学校区）	N.º	
図面名	便所平面詳細図（床湿式洋式化） 2階以上階（パターン3、パターン4）	施尺	A1 1/20 A3 1/40
岡山市	都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	令和8年3月	
課長	課長補佐 係長 課員	担当者	承認 検図 製図





和便器撤去跡改修要領図



洋便器設置要領図

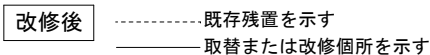
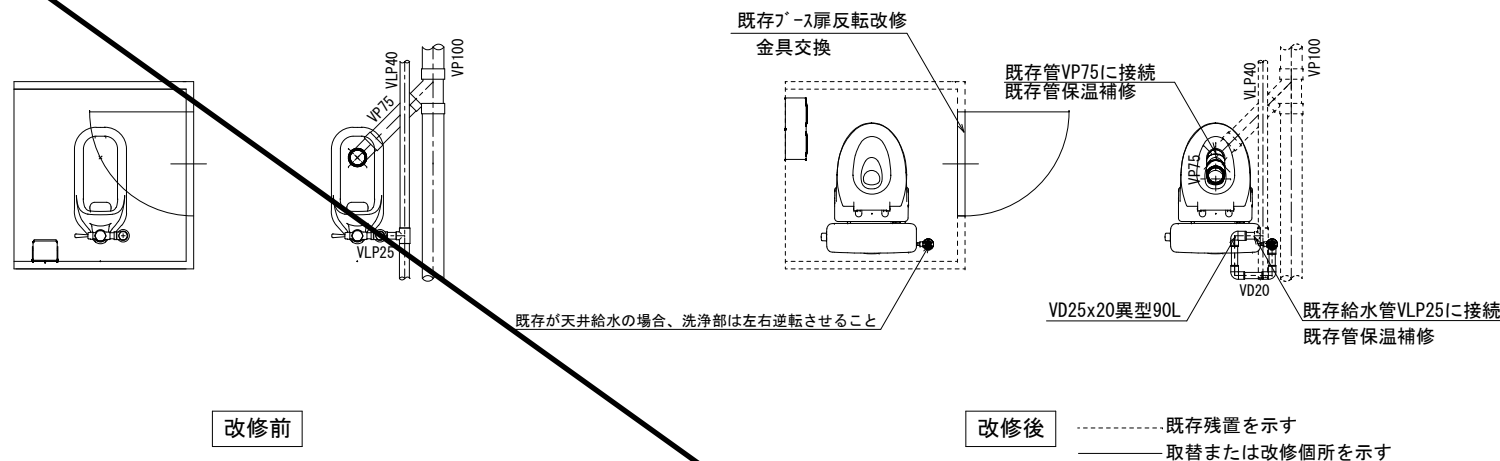
機械設備

記 号	名 称	仕 様	参考型式 (TOTO)	参考型式 (LIXIL)
	洋風大便器	リネーﾙ桶除口付きフラッシュ式普通便座 (蓋有り)	CFS498BMCT#NW1, TC301#NW1	BC-P110HM, DQ-PA150CH, CF-49AT 322-1165-630, A-10476
	紙巻器		YH650	CF-AA64

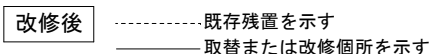
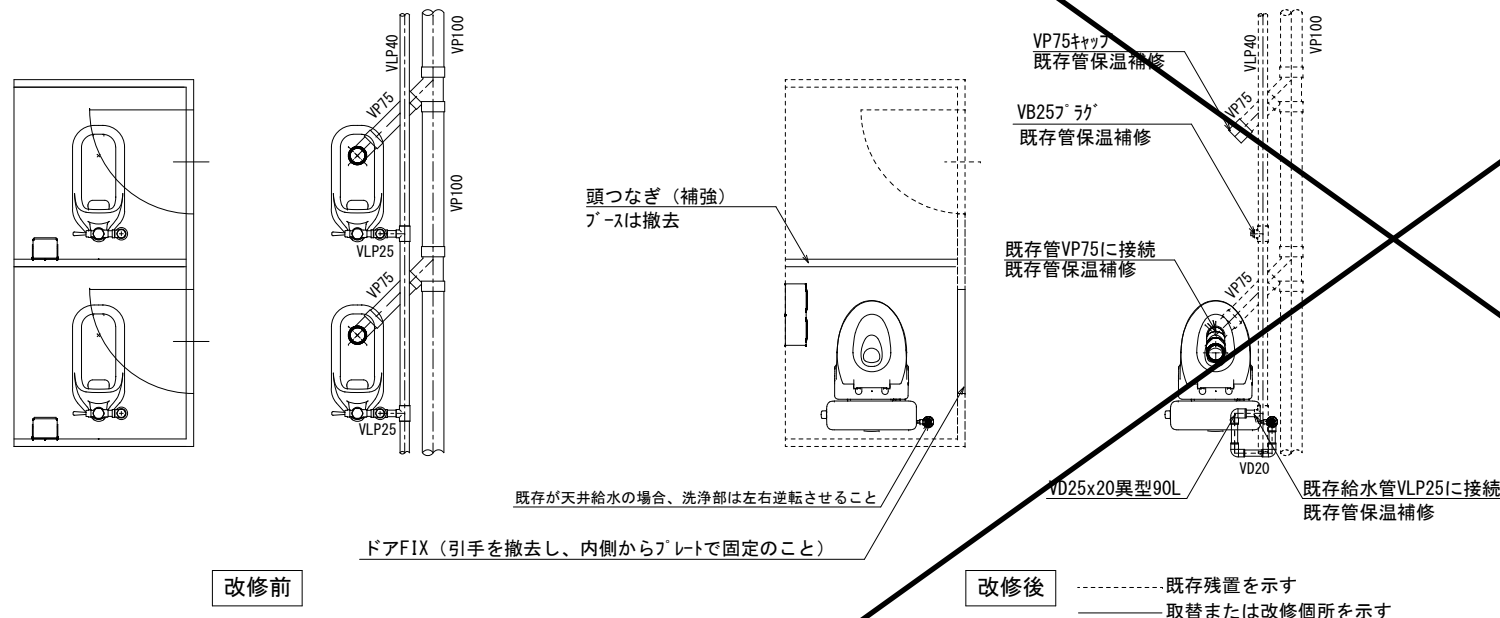
共通	給水管	SGP-VD	継手 (VD) ｼﾞｮｲﾝﾄ部・土間部は塗装無し、保温なし 既存給水管より分岐、一部保温補修、防食テープ巻 改修箇所は保温なし 廃止の排水管は分岐部でキャップ止め
	排水管	VP	
	便所プー-ス一部改造		ドアは外開き (常時閉) に変更。開き止めを設置すること。 ドアFIX (引手を撤去し、内側からプレートで固定のこと) 表示付きのカギへ取替えること。 既存プー-スを可能な限り利用すること。
	その他		床：既存 (湿式) のままのこと。 天井：既存のままのこと。 壁：既存のままのこと。

工事名	岡山市立小中学校便所改修工事 (吉備中学校区)				N o.			
図面名	便所平面詳細図 (床湿式洋式化) 1 階部 (ﾊﾞﾀｰﾝ5、ﾊﾞﾀｰﾝ6)				施 尺	A1 1/20 A3 1/40	M-04	
岡山市	都市整備局	住宅・建築部	公共建築課		令和8年3月	担当者	承認	核図
	課長	課長補佐	係長	課員				製図



~~パターン7~~



パターン 8

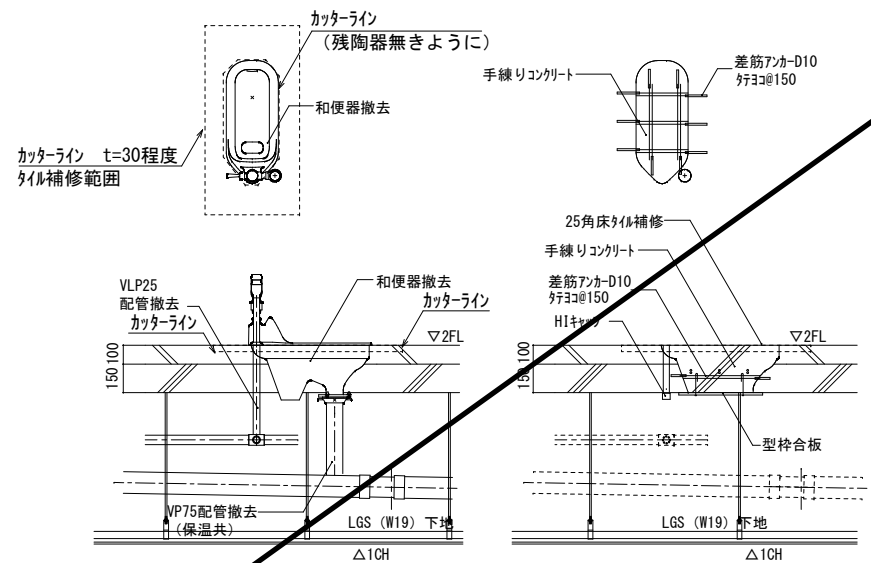


機械設備

記 号	名称	仕 様	参考型式 (TOTO)	参考型式 (LIXIL)
	洋風大便器	リフト・掃除口付きフラッシュタンク式 普通便座（蓋有り）	CFS498BMCT#NW1, TC301#NW1	BC-P110HM, DQ-PA150CH, CF-49AT 322-1165-630, A-10476
	紙巻器		YH650	CF-AA64

共通	給水管	SGP、VD	継手 (VD)、一部 (VB)、露出部は塗装無し、保温なし
			既存給水管より分岐、一部保温補修
	排水管	VP	改修箇所は保温なし
			廃止の排水管は分岐部でキャップ止め
	便所ブース一部改造		ドアは外開き（常時閉）に変更。開き止めを設置すること。 ドアFIX（引手を撤去し、内側からアレットで固定のこと） 表示付きのカギへ取替えること。 既存ブースを可能な限り利用すること。
	その他		床：既存（湿式）のままのこと。 天井：既存の天井ボード及び照明器具を取外し再取付けのこと。 壁：既存のままのこと。

共通事項

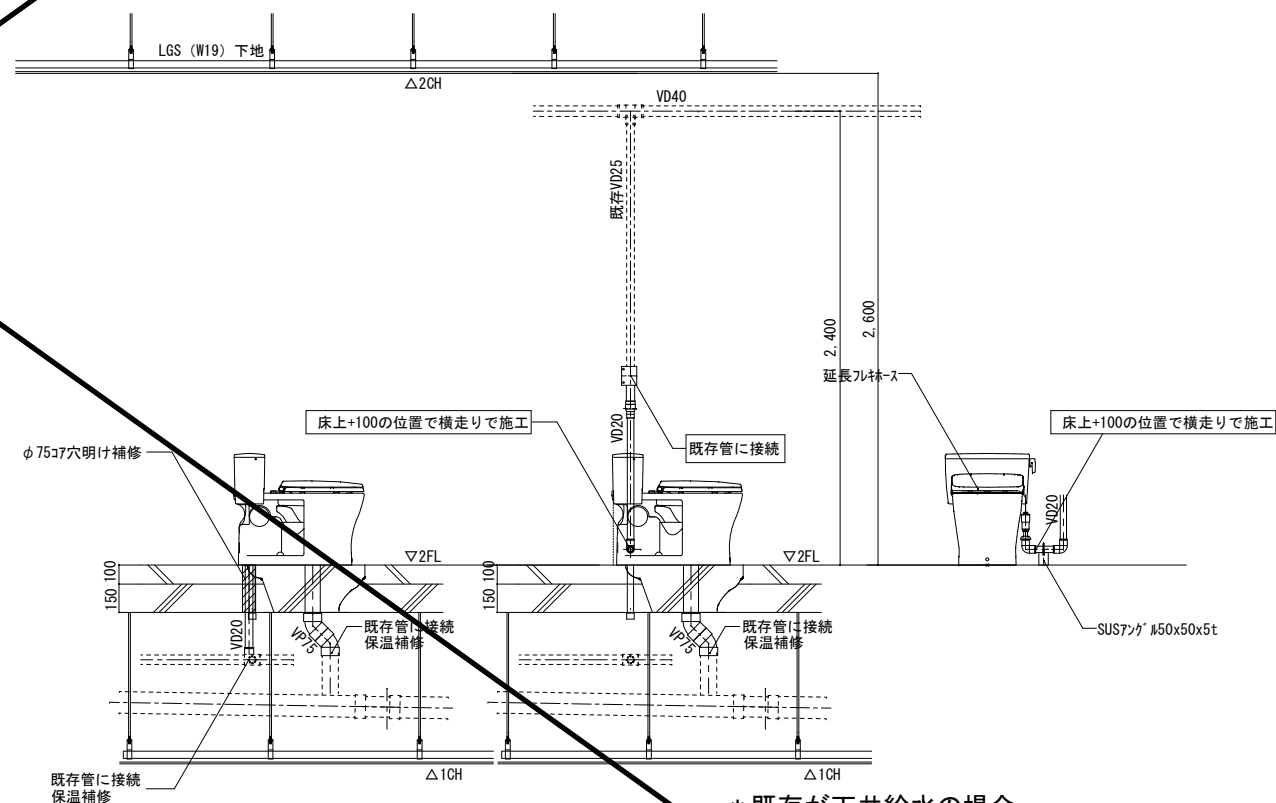


パターン7 *455×910×9.5t化粧石膏ボード 2枚取外し・再取付け
*ダウンライト1個取外し・再取付け

パターン8 *455×910×9.5t化粧石膏ボード 6枚取外し・再取付け
*ダウンライト2個取外し・再取付け

和便器撤去跡改修要領図

* 下階に天井がある場合



* 既存が天井給水の場合

パターン7 *455×940×9.5t化粧石膏ボード 2枚取外し・再取付け
*40型蛍光灯器具1個取外し・再取付け

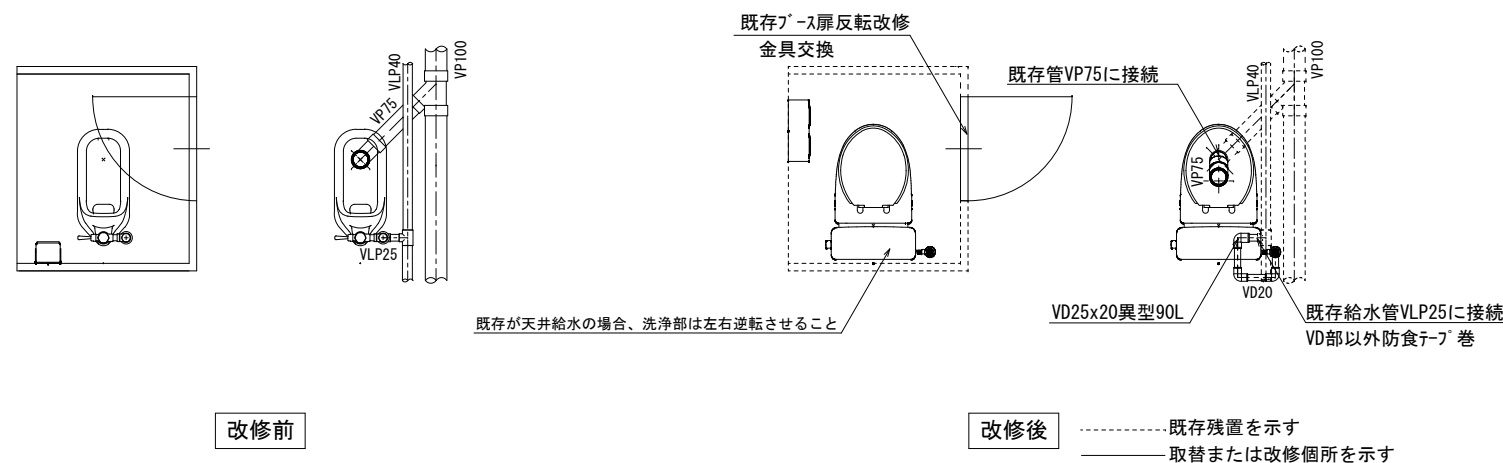
パターン8 *455×910×9.5t化粧石膏ボード* 6枚取外し・再取付け
*40型蛍光灯器具1個取外し・再取付け

洋便器設置要領図

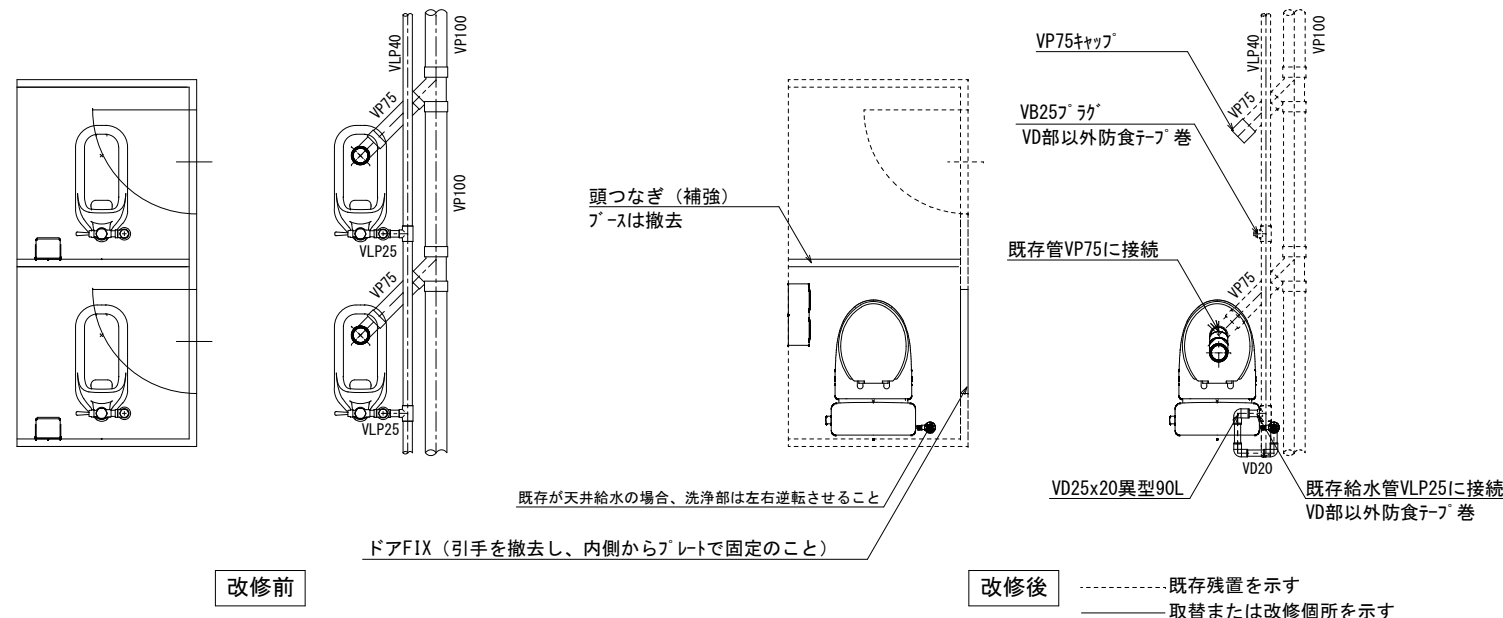
~~* 下階に天井がある場合~~

工事名							No.					
岡山市立小中学校便所改修工事（吉備中学校区）												
便所詳細図（床湿式洋式）							縮尺		M-05			
Ⅱ階部改修（ﾊﾞｰﾅﾝﾌﾟ、ﾊﾞｰﾅﾝｸﾞB）							A1 1/20 A3 1/40					
岡山市 都市整備局 住宅・建設部 公共建築課							令和8年3月					
課長		課長補佐		係長		課員		担当書		承認	検印	製図

パターン 9



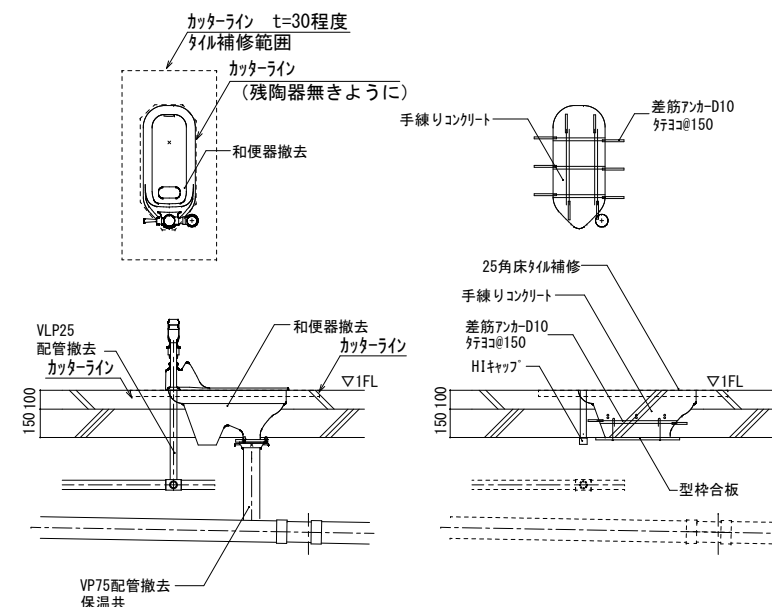
パターン 10



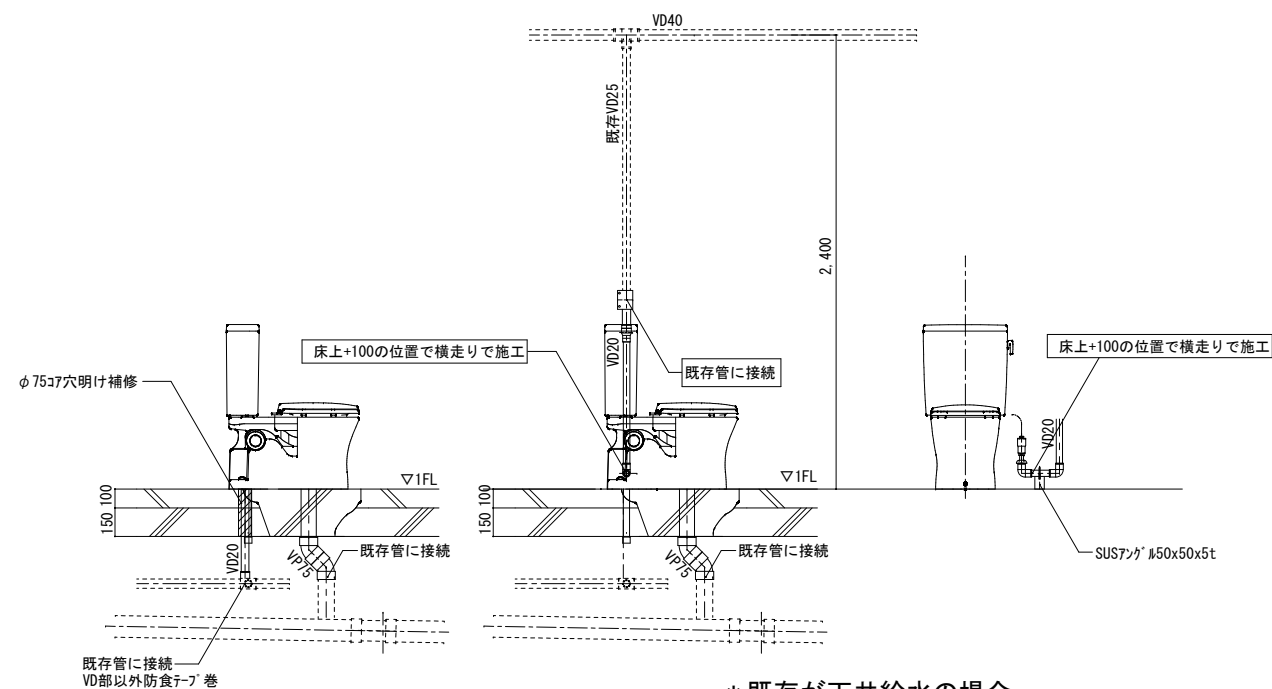
記 号	名称	仕様	参考型式(TOTO)	参考型式(LIXIL)
	洋風大便器	リモテール陶器製防露タコ式、普通便器（蓋有り）	CS597BMCS、SH596BAYR、TC301	BC-P20HUM、DT-PA250HUCHTK、CF-49AT
	紙巻器		YH650	CF-AA64

共通	給水管	SGP-VD	継手 (VD) ,ピット部・土間部は塗装無し、保温なし 既存給水管より分岐、一部保温補修、防食テープ巻
	排水管	VP	改修箇所は保温なし 廃止の排水管は分岐部でキャップ止め
	便所ブース一部改造		ドアは外開き（常時閉）に変更。開き止めを設置すること。 ドアFIX（引手を撤去し、内側からプレートで固定のこと） 表示付きのカギへ取替えること。 既存ブースを可能な限り利用すること。
	その他		床：既存（湿式）のままのこと。 天井：既存のままのこと。 壁：既存のままのこと。

共通事項



和便器撤去跡改修要領図



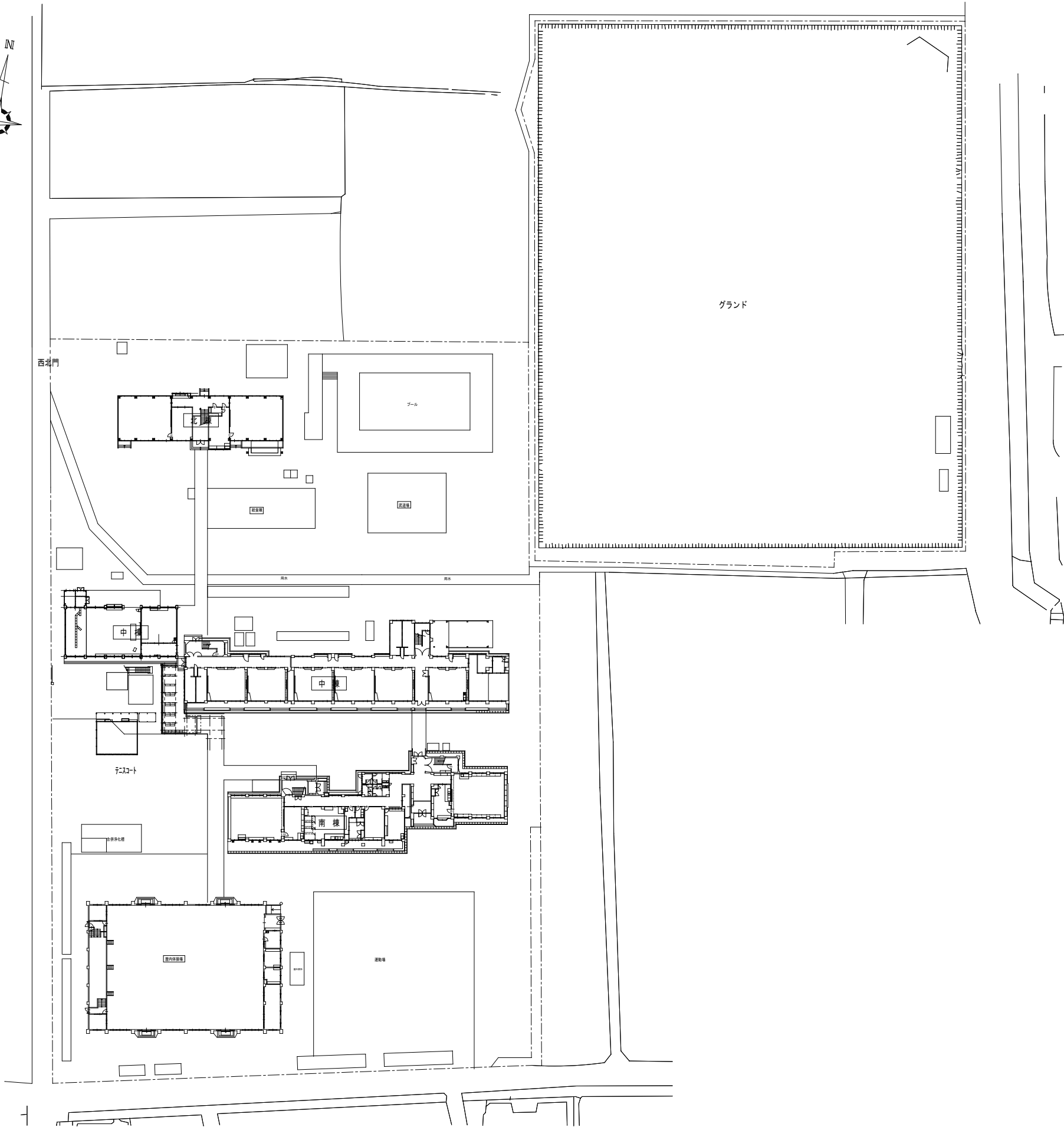
* 既存が天井給水の場合

洋便器設置要領図

工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（吉備中学校区）				N o.	
図面名	便所平面詳細図（床・床土洋式） 屋外便所（ハタン９、ハタン１０）				M-06	
岡山市 課長 課長補佐 係長 課員	都市整備局 住宅・建築部 公共建築課	図尺 A1 1/20 A3 1/40	令和8年3月 担当者	承認		横図
					製図	



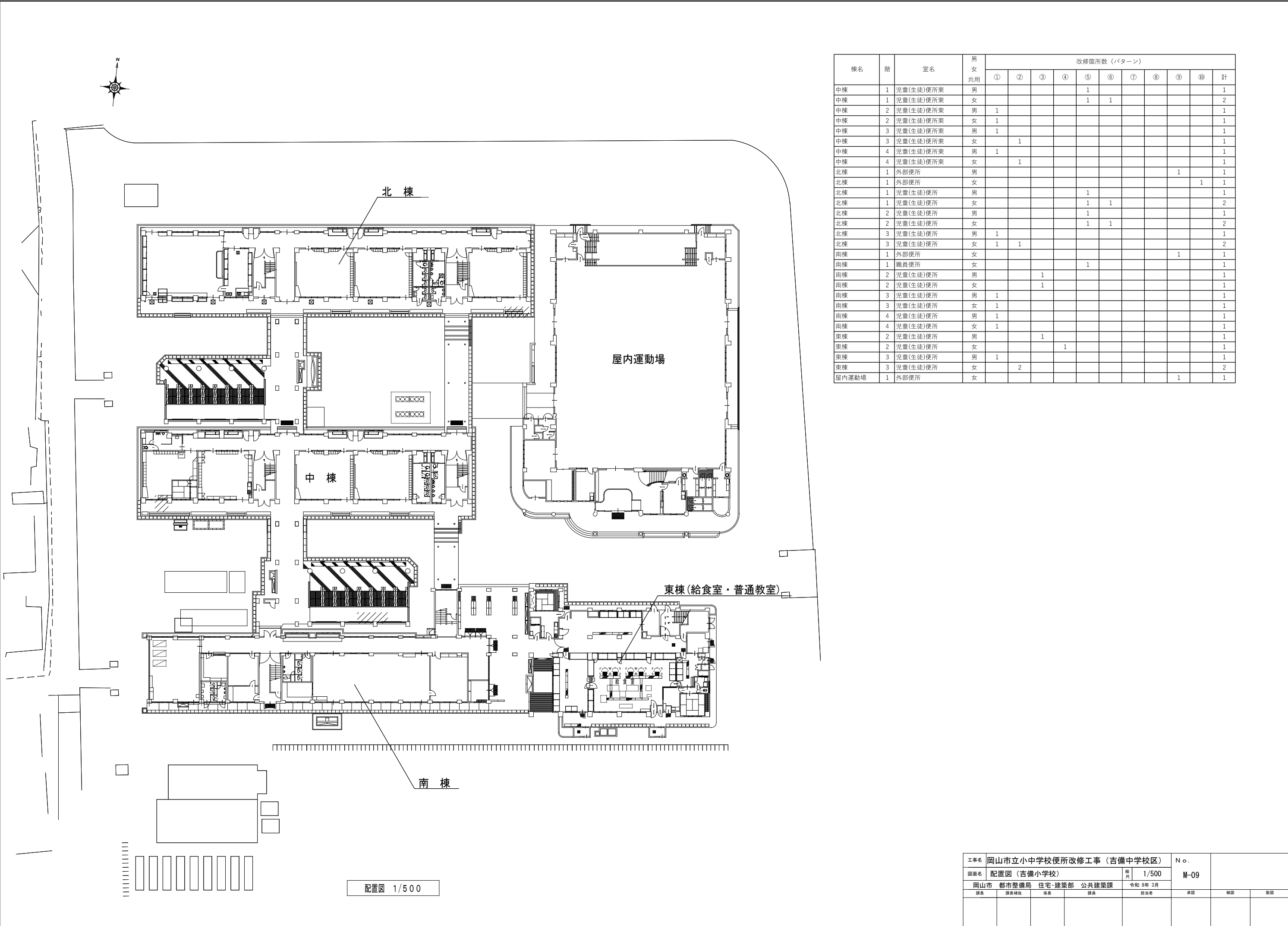
工事名 岡山市立小中学校便所改修工事（吉備中学校区）					No.				
図面名 岡山市域図		縮尺 1/250000			M-07				
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和 8年 3月				
課長		課長補佐		係長		課員		担当者	
								承認	
								検図	
								製図	



配置図 1/500

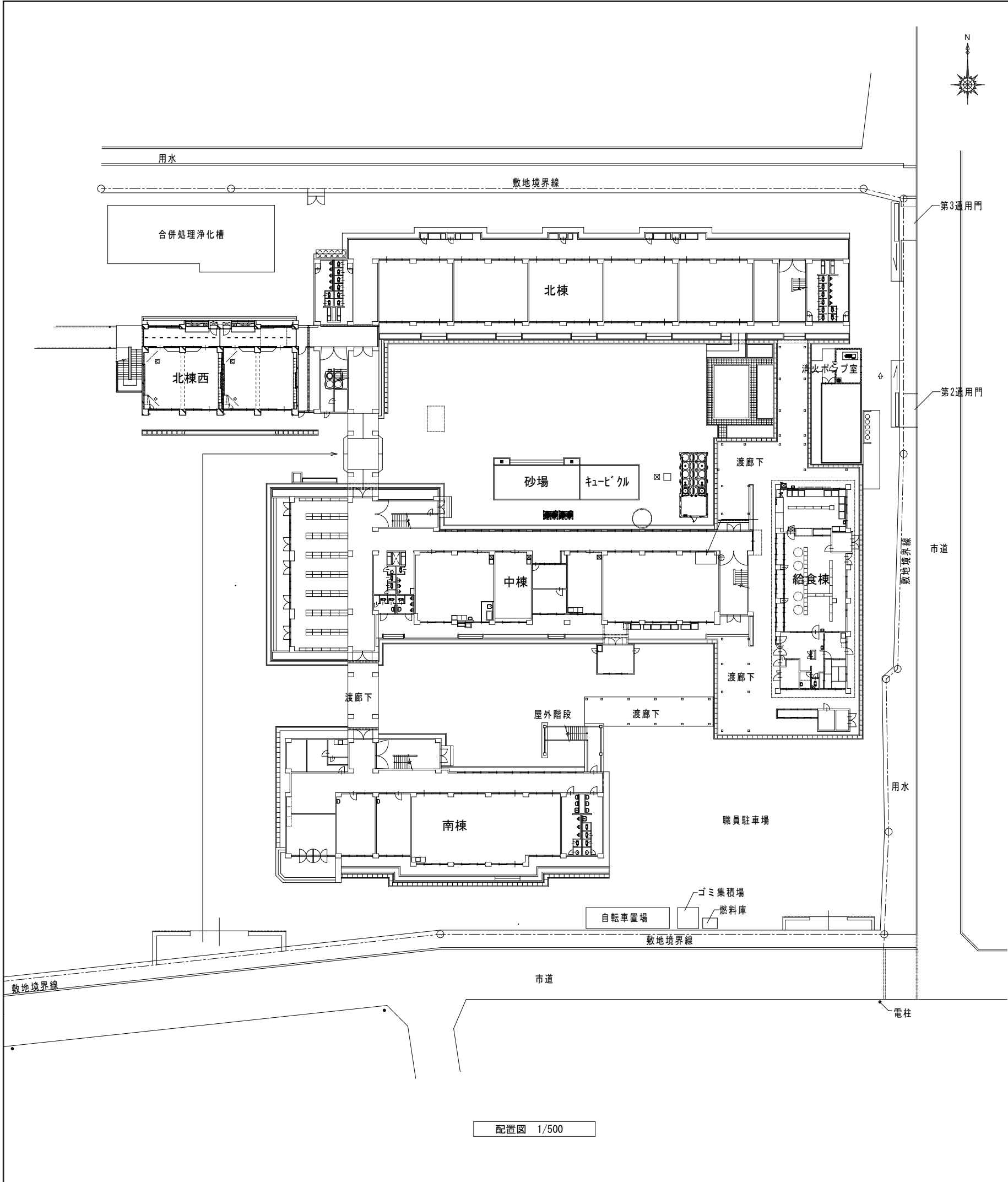
棟名	階	室名	男女 共用	改修箇所数（パターン）										計
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
屋外便所南	1	屋外便所	男									1		1
屋外便所南	1	屋外便所	女									2		2

工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（吉備中学校区）				N o.			
図面名	配置図（吉備中学校）				縮尺	1/500	M-08	
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和 8 年 3 月		担当者	承認	検図	製図	
課長	課長補佐	係長	課員					



棟名	階	室名	男 女 共用	改修箇所数（パターン）											計
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
中棟	1	児童(生徒)便所東	男					1							1
中棟	1	児童(生徒)便所東	女					1	1						2
中棟	2	児童(生徒)便所東	男	1											1
中棟	2	児童(生徒)便所東	女	1											1
中棟	3	児童(生徒)便所東	男	1											1
中棟	3	児童(生徒)便所東	女		1										1
中棟	4	児童(生徒)便所東	男	1											1
中棟	4	児童(生徒)便所東	女		1										1
北棟	1	外部便所	男									1			1
北棟	1	外部便所	女										1		1
北棟	1	児童(生徒)便所	男					1							1
北棟	1	児童(生徒)便所	女					1	1						2
北棟	2	児童(生徒)便所	男					1							1
北棟	2	児童(生徒)便所	女					1	1						2
北棟	3	児童(生徒)便所	男	1											1
北棟	3	児童(生徒)便所	女	1	1										2
南棟	1	外部便所	女									1			1
南棟	1	職員便所	女					1							1
南棟	2	児童(生徒)便所	男			1									1
南棟	2	児童(生徒)便所	女			1									1
南棟	3	児童(生徒)便所	男	1											1
南棟	3	児童(生徒)便所	女	1											1
南棟	4	児童(生徒)便所	男	1											1
南棟	4	児童(生徒)便所	女	1											1
東棟	2	児童(生徒)便所	男			1									1
東棟	2	児童(生徒)便所	女				1								1
東棟	3	児童(生徒)便所	男	1											1
東棟	3	児童(生徒)便所	女		2										2
屋内運動場	1	外部便所	女									1			1

工事名 岡山市立小中学校便所改修工事（吉備中学校区）					No.	
図面名 配置図（吉備小学校）			縮尺	1/500		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課					令和 8年 3月	
課長	課長補佐	係長	課員	担当者	承認	検図
						製図



棟名	階	室名	男 女 共用	改修箇所数（パターン）										計
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
北棟	2	児童(生徒)便所西	女				2							2
北棟	3	児童(生徒)便所西	女	1	2									3
北棟	4	児童(生徒)便所西	女	1	2									3
北棟	2	児童(生徒)便所東	男			1								1
北棟	2	児童(生徒)便所東	女				2							2
北棟	3	児童(生徒)便所東	男	1										1
北棟	3	児童(生徒)便所東	女	1	2									3
北棟	4	児童(生徒)便所東	男	1										1
北棟	4	児童(生徒)便所東	女	1	2									3
中棟	2	児童(生徒)便所	男			1								1
中棟	2	児童(生徒)便所	女			1	2							3
中棟	3	児童(生徒)便所	男	1										1
中棟	3	児童(生徒)便所	女	1	2									3
中棟	4	児童(生徒)便所	男	1										1
中棟	4	児童(生徒)便所	女		2									2
南棟	2	児童(生徒)便所	男			1								1
南棟	2	児童(生徒)便所	女			1	2							3

工事名	岡山市立小中学校便所改修工事（吉備中学校区）					No.			
図面名	配置図（陵南小学校）				縮尺	1/500	M-10		
岡山市 都市整備局 住宅・建築部 公共建築課		令和 8 年 3 月		担当者		承認	検図	製図	
課長	課長補佐	係長	課員						